

★ 今週の聖句

「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」ルカによる福音書 9:23

★ ねらい

- ① 毎日の生活の中で、イエスさまに従うように招かれていることを知らせる。
- ② イエスさまを「何者」としているかを考える。
- ③ 「自分を捨て」「自分の十字架を背負って」について考える機会とする。

★ 説教作成のヒント

- ・ 「あなたはわたしを何者だと言うのか」という問いの前に立つ。
- ・ 上記の問いと「自分を捨て」「自分の十字架を背負って」従う招きとのつながりを考える。
- ・ イエスさまを私の主とするということは、そのように生きるということ。イエスさまのために「自分を捨て」「自分の十字架を背負って」従うことが求められる。

★ 豆知識

- ・ ルカによる福音書において、「祈るイエス」の姿を数多く見出すことができる。多くの場合、何か大切なことを教えられるか、行われる直前である。
- ・ マルコやマタイが「フィリポ・カイサリア地方」と場所を明記しているのに対して、ルカは祈るイエスの姿を記し、場所を特定しない。この出来事が特定された場所や時間を越えることを強調している。今、私たちは「わたしを何者だと言うのか」と問いかけられ、「自分を捨て」「自分の十字架を背負って」従うように招かれているのである。

★ 説教

「イエスさまは誰か」と聞かれたら、私たちは何と答えますか？（子どもたちの答えを聞き、紹介する）ペトロさんは「神からのメシアです」と答えました。「神さまから来てくださった救い主です」という意味です。それでは「あなたにとってイエスさまが『神さまから来てくださった救い主』であるとはどういうことになるか」と尋ねられたら、何と答えたらいいのでしょうか。

「私にとってイエスさまが『神さまから来てくださった救い主』である」ということは、口でそのように言い表すということだけではなく、イエスさまを私の救い主として生きるということです。それは今日、イエスさまが教えておられるように「自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って」イエスさまに従うということです。

マザー・テレサさんの本に一つの話が紹介されています。「マザー・テレサの活動が人々に知られ

る前、一時期、マザー・テレサのところに砂糖がまったく入らなくなったことがありました。そのため、毎日お世話をしている何千人もの孤児、病人、貧しい人たちにも砂糖を分け与えることができませんでした。カルカッタに住む4歳の子どもは、学校で先生から話を聞くと両親に言いました。

『ぼくは、今日から三日間砂糖を食べないよ。ぼくのぶんをマザー・テレサにあげるんだ。』～三日後に家族そろってマザー・テレサを訪ね、そのビンを差し出しました。それは、男の子がマザー・テレサや貧しい人たちを助けるために、三日間自分を犠牲にしてためたものだったのです。(マザー・テレサ 愛の花束/PHP 研究所 p.16 以下より)

小さな男の子は、マザー・テレサさんのために三日間、自分のことを我慢しました。砂糖は甘くておいしいので、その男の子も大好きだったかもしれません。大好きなものを小さな男の子は我慢したのです。それを自分で決めたのです。そして、それはマザー・テレサさんのためだけではなく、イエスさまのために自分を捨てて、従ったということです。

私たちは、誰かのために自分の好きなものを我慢して分けてあげたり、自分の時間を誰かのために使ったりすることができます。困っている人を見て、自分のできることをすること、独りぼっちな誰かと友だちになること、自分のことではなく誰かと一緒に生きること、それこそ自分を捨てて救い主イエスさまに従うことなのです。

#### ★分級への展開

#### さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか” (日キ版) より

1 2 7 番

8 4 番 (改訂版)

#### やってみよう

用意するもの リュックサック(大人用の大きさのもの)

ペットボトル(中身が入っているもの)大・中・小数本ずつ

★ 自分の気持ちをペットボトルの大きさに例えてリュックにつめる。

つらい気持ち、悩んでいる事、ケンカしちゃった、自分で感じる自分のいやな心……。

たくさんの思いを実際の荷物として背負ってみる。

★ こんなに重いのは大変。放り出したい。楽になりたい……。でも神さまは敢えて「背負ってついてきなさい」「従ってきなさい」と言われる。

神さまは、ありのままのあなたでいいんだよ、と私たちを受け止めてくれる方。

★ 重荷を背負っていく、とはどういうことなのか体験してみる。

★ 暗唱聖句

「鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」 ルカによる福音書 9章 62節
--

★ ねらい

- ・「神の国」とは何か、神の国にふさわしいとはどういうことかを考える。

★ 説教作成のヒント

- ・ エルサレムが十字架の死を遂げられる場所であり、そこへ向かう決意を固められたその思いを知る。
- ・ 神の国とは、どこか遠い場所ではなく、神の支配という意味である。

★ 豆知識

- ・ ルカ 9章 51節から 18章にかけてエルサレムへの旅という大きな枠組みになる。
- ・ 「エルサレムへの旅」という大きな枠組みの始まりにあって「向かう」(51節)、「道を進んでいく」(57節)とエルサレムに向かっている様子が強調されている。
- ・ 列王記上 19章 19節以下によると、エリヤがエリシャを招いたとき、エリシャは両親へ別れの接吻を求め、エリヤはそれを認めている。

★説教

「天国」や「神の国」というとどのようなイメージを持っていますか？（子どもたちの声を聞くといいでしょう）

天国というと、死んだ後に行くところ、あるいは地獄と対になっているところというイメージが多くの人にあるかもしれません。ですから、生きている今、天国のことはあまり関係ないと思ってしまうものです。また、国というのですから、空のかなたにそのような国があると思うかもしれませんね。

でも、新約聖書が書かれている元々の言葉はギリシャ語という言葉ですが、ギリシャ語では「国」と訳されている言葉は「支配」を意味する言葉が使われているのです。つまり、「天国」「神の国」とは、どこか空のかなたにある場所ではなくて、神さまが支配されるということを意味しているのです。

今日、イエスさまは「鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」と言われました。それは神の国に入る資格のことというよりも、神さまの支配の下にあることにふさわしくないと言われているのです。神さまの支配の下にあるということは、神さまにすべてを任せて生きるということだからです。

イエスさまは十字架の死を遂げられるエルサレムへと歩き始められました。このイエスさまこそ、神の支配の下に生きる者の姿そのものでした。神さまにすべてを委ねて生きられたからです。そのイエスさまの弟子となって従いたいと思う人たちがいましたが、その中のある人は「あなたに従いますが、家族に別れを言わせてください」と言いました。その人に向かってイエスさまは「鋤に手をかけて後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」と言われたのです。それはイエスさまが十字架の死を遂げられるエルサレムへと向かわれるのは、神の支配の下に生きるということだったからです。イエスさまに従うということは、従おうとする私たちも神の支配の下にある自分を生きるということなのです。私たちはいろいろな心配事のかかえて生きていることがあります。失敗することも心配ですね。でも、神さまはすべてを支配しておられますから、心配することはありません。もちろん神さまに任せれば失敗しなくなるということではありません。失敗しても、それが自分がダメだということではないとわかるようになるのです。

すべてを任せて安心して生きることこそ、神の支配の下に生きることです。みんなが小さくても、弱くても、自信が持てなくても、神さまに任せて安心して生きてごらん下さいと教えられています。

### ★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□ 5 4 番

□ 1 2 0 番（改訂版）

やってみよう

用意するもの 先週と同じリュックサックとペットボトル数本

★ 重荷(自分の十字架)を背負っていくのは大変苦しい事。先週を思い出してみる。

★ 詩「FOOTPRINTS」を紹介する。

★ 重いリュックを背負ったまま大人(神さまの代わりに)におんぶしてもらう

ひとりで背負っているときよりも楽に感じるし、一人ではない、という嬉しさがある。

神さまはどんな時もわたしたちを受け止めて、私たちが気づくずっと前から一緒にいてくださる方。その喜びを伝えたい。感謝の祈りを共にささげる。

★今週の聖句

『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』

ルカによる福音書 10:27

★ ねらい

神を愛すること、人を愛すること、自分を愛することがつながっていることを知らせる。  
隣人とは誰かを考える機会とする。

★ 説教作成のヒント

- ・ 世界の子どもたちに比べて、日本の子どもたちは「自分が好きである」あるいは「自分に自信がある」という問いに否定的な答えが圧倒的に多いという現状を知る。
- ・ 神さまに愛されている自分や隣人の存在を肯定的に考えられるようになるように導く。
- ・ 「隣人とはだれか」と問う律法の専門家に対して、イエスは「だれが隣人となったか」と問う。

★ 豆知識

- ・ 「心を尽くし」以下は申命記 6 章 5 節の引用であるが、そこでは「あなたは心を尽くし、魂をつくし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」とある。
- ・ 「隣人を自分のように愛しなさい」は、レビ記 19 章 18 節 b の引用である。
- ・ マルコによる福音書 12 章 29 節以下では、イエスご自身が「最も重要な掟」について上記の二つを並べて答えている。両者は不可分である。

★ 説教

新聞に世界の子どもたちへアンケートをした結果と説明が載っていました。いくつかの質問があったのですが、自分についての質問の中で「自分が好きでない」「自分に自信がない」という問いに対して、外国の子どもたちに比べて日本の子どもたちが圧倒的に「自分が好きでない」「自分に自信がない」という答えが多いとグラフで示されていました。反対に「自分が好きだ」「自分に自信がある」という質問に対して多くの外国の子どもたちは「はい」と答え、日本の子どもたちは非常に少ないのです。

どうしてなのかと考えると、どうも日本の子どもたちは海外の子どもたちに比べて、周りの人々から肯定的な言葉や態度を受けてきていないことに気づきます。「もっと～しなさい」「早く～しなさい」そんな言葉が思い当たります。大きくなるときに「あなたはダメだ」といった否定的な言葉や態度を受けていると、人は「自分はダメな人間なんだ」と思うようになるそうです。反対に「あ

あなたは素晴らしい」とほめられて育つと、自分を好きになれるのだそうです。

今日、イエスさまは「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くしてあなたの神である主を愛しなさい」と精一杯神さまを愛することを教えています。そして、それだけではなく、それと同時に「隣人を自分のように愛しなさい」とも教えています。神さまを愛することと、人を愛することはつながっているのです。そして「自分のように」とも言われていますから、自分を愛することもまたつながっているとと言えるでしょう。そして、それらの前提は神さまが隣人を愛し、この私も愛しておられるということです。神さまはだれも「ダメだ」とは言わないで「良し」と言ってくださいます。何ができるかではなく、その存在が何よりも大切だからです。神さまからするなら、この私も、そして周りにいる家族、友だち、近所の人などあらゆる人々が素晴らしいのです。あなたはそのままの自分が好きでいいし、自信を持っていいのです。だって神さまが良いと言ってくださるのですから。そして、自分と同時にすべての人も神さまに愛されており、その人々を私たちが愛するという事は、神さまを愛することにつながっているのです。

神さまがまず私たちを愛してくださいました。自分を愛しましょう。周りの人を愛しましょう。そして、神さまを愛しましょう。

### ★分級への展開

さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□ 1 3 7 番

□ 1 2 5 番（改訂版）

やってみよう

用意するもの 色画用紙 2 色 型紙（この週と次週 2 回使えます 図 1 参照） のり  
はさみなど

★ 大切なメッセージは「隣人を愛する」こと。誰が私の隣人かを探すのではなく自分が誰かの隣人になろう。助けを必要としている人(の手)と差し出す手(helping hand)をつないだらハートになった!(図 2)

★ できたハートを・・・聖書のしおりに 台紙に貼ってカードに 竹ひごと糸を使ってモビールに 色画用紙だけでなくフェルトで作るのも良い。(図 3)



①



②



③

★今週の聖句

「しかし、必要なことはただ一つだけである。」ルカによる福音書 10:42

★ ねらい

- ① 本当に必要なものは何かについて考える。

★ 説教作成のヒント

- ・ 社会の中で必要だと思うものを子どもたちと考えてみてはどうか。
- ・ 子どもたちが必要だと思っているものを尋ねてみてはどうか。
- ・ イエスさまが必要だと言われているものは

★ 豆知識

- ・ 「座って」(39節)は「自分の場所を誰かの脇に取る」を意味する言葉。
- ・ 「せわしく立ち働いていた」(40節)という言葉は、「周りへ」+「引く」という2つの語からできている。「周りへ引かれる」ということ。
- ・ 以上のように原文では二人の姿が対照的である理由が明らかにされている。「中心」とすべき何かの脇に自分の場所を取るマリアと周りへ引かれ、「中心」から離れているマルタの姿である。

★ 説教

(前準備)厚紙と爪楊枝で2~3種類のコマを作っておく。一つは中心に、他は中心からずらしてそれぞれ爪楊枝を刺しておく。

今日は、コマを作ってきました。みんなはコマを回したことがありますか？ さっそくまわしてみましよう。どちらのコマがよく回るでしょうか、予想してみてください。(中心に爪楊枝を刺したコマを回し、続いて中心からずれた場所に爪楊枝を刺したコマを回す) 最初のコマはよく回りましたね。でも、次の(あるいはその他の)コマはよく回りませんでした。よく回ったコマとそうでないコマとでは何が違うのでしょうか。(子どもたちに尋ねてみるのもいい)

(コマを横にして子どもたちに爪楊枝がどこに刺さっているか見えるようにする) よく見てください。よく回ったコマはちょうど真ん中に爪楊枝が刺さっていますが、もうひとつの、よく回らなかったコマは少しずれたところに爪楊枝が刺さっていますね。コマがよく回るには、芯となる爪楊枝が真ん中にあることが大切なことなのです。

今日、イエスさまはマルタさんとマリアさんの家を訪ねました。二人ともイエスさまが来てくれたのでとてもうれしかったでしょうね。でも、イエスさまを迎える二人の姿は違っていました。マ

リアさんはイエスさまのそばに座っていました。マルタさんはイエスさまを喜ばせようと、飲み物や食べ物の準備をしていたのでしょう。「いそがしく立ち働いていた」と書いてあります。あまりにも忙しいので、マルタさんはイエスさまにマリアさんにも手伝うように言ってほしいとお願いしました。するとイエスさまは言われたのです。「必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」(42 節)

マリアさんが座っていたのは、イエスさまのそばでした。イエスさまのお話がよく聞こえる場所です。イエスさまが喜ばれるのは、イエスさまを真ん中にして、その言葉を聞き、イエスさまと一緒に生きるということです。どんなときでも、イエスさまと一緒に生きる。これが「ただ一つの必要なこと」です。私たちというコマもイエスさまという芯を真ん中にする、このコマのようによく回るのです。

★分級への展開

さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

□ 5 3 番

□ 1 1 9 番 (改訂版)

やってみよう

用意するもの 色画用紙 2 色

用意するもの 型紙(先週と同じもの) 色画用紙(1 色でも OK 好きな色を選べたらなお良い)  
のり ペン はさみ シールなど

★神さまのみ言葉を聞くことの大切さを教えられている箇所。

前の週では隣人とつないだ手を今週は神さまに祈る手にする。

★ 先週の型紙を使って画用紙を切ります。そのときに実際の型紙より 10 センチくらい長く切る。  
(図 4)

★ 手を合わせるように指先を糊付けし、手首の部分を折って手が自立するように調節しながら糊付けする。シールなどで飾っても良い。(図 5)

★ 「神さまのみことばを聞く」がテ-

例 サムエル記上 3 章の 「主よ

コトバを聞く 10 章 17 節 「主よ

とに

④

